

平成30年度 学校運営に関する評価の結果と考察

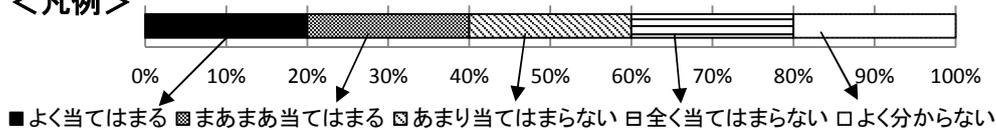
早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました平成30年度の学校運営に対する保護者アンケートに、たくさんの保護者の方々にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見えてきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしていきます。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

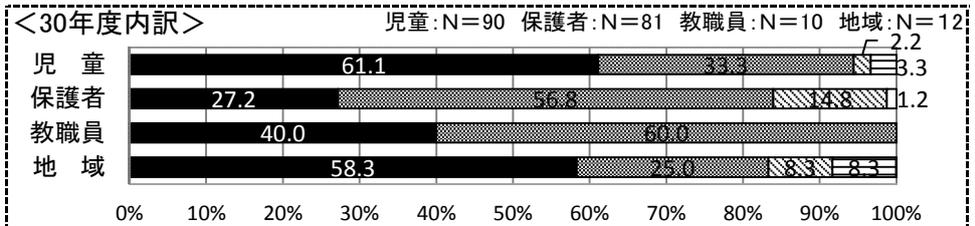
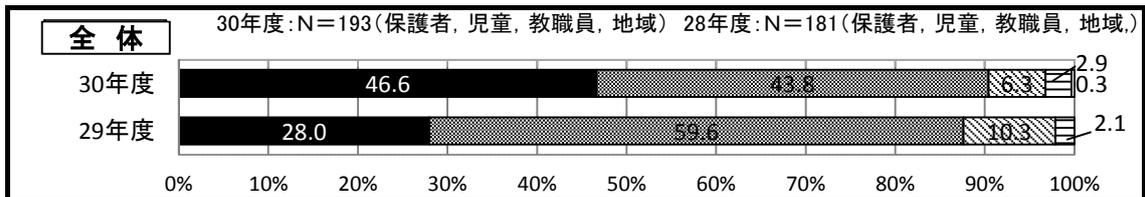
★ 各グラフの標記については、下の凡例を参考にしてください。

<凡例>

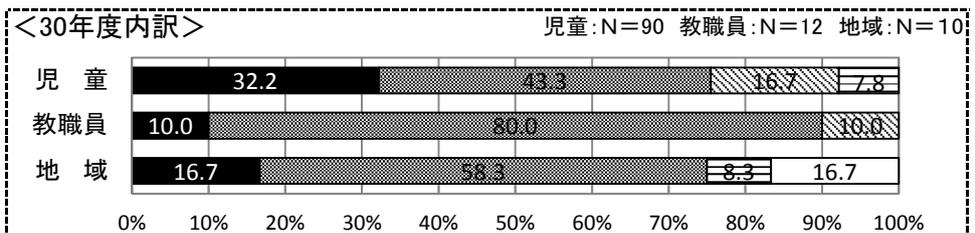
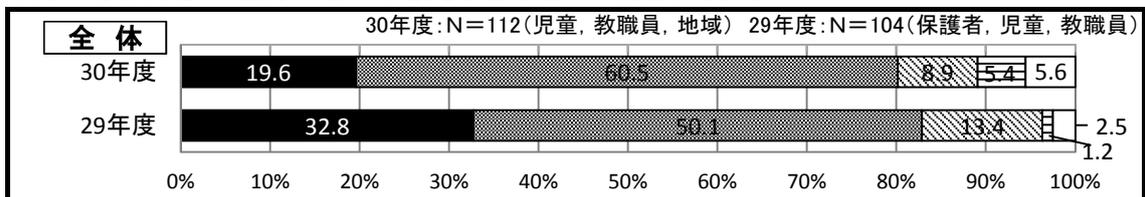


1 重点目標について

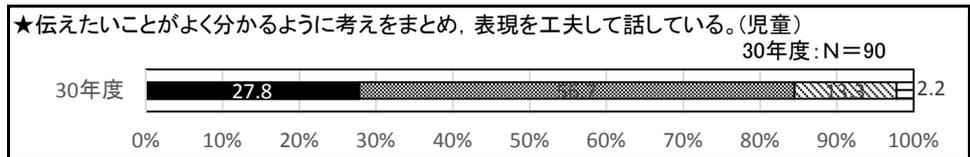
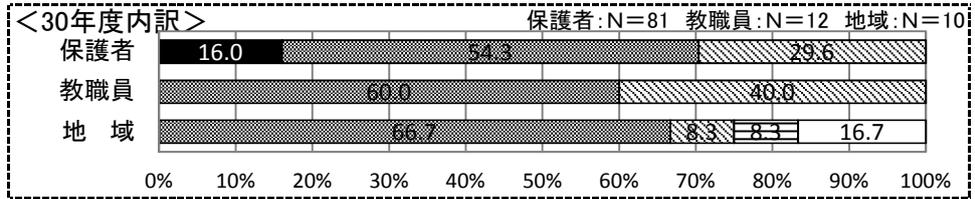
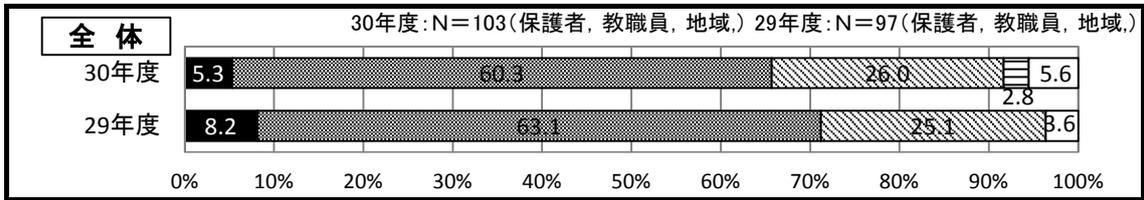
① 根小の子供は、相手の話をしっかりと聴いている。



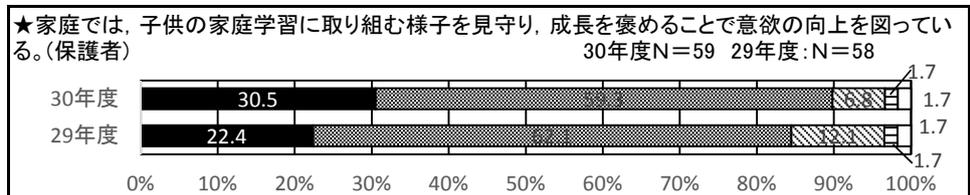
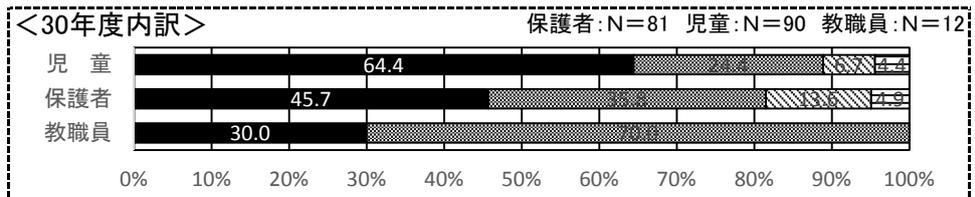
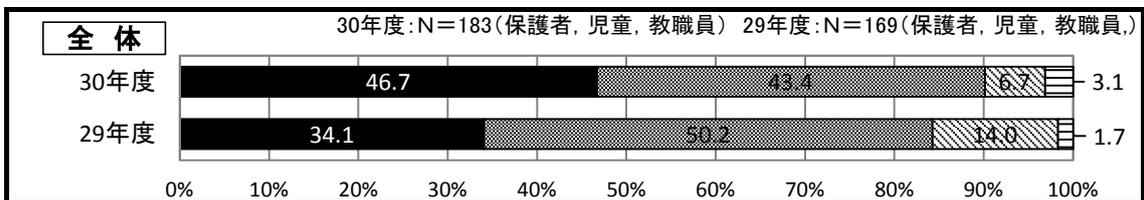
② 根小の子供たちは、自分の考えや意見などを進んで発信している。



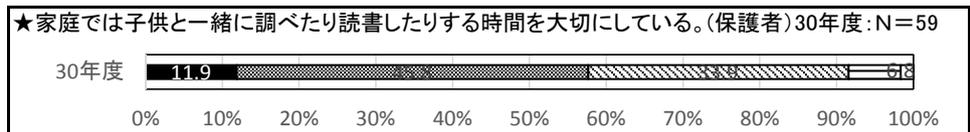
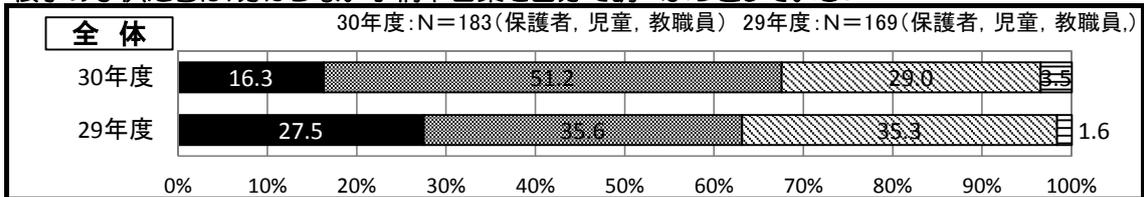
③ 根小の子供は、伝えたいことがよく分かるように考えをまとめ、表現を工夫して話している。



④ 根小の子供たちは、宿題や自主勉強を自ら行い、毎日続けている。



⑤ 根小の子供たちは、分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。



<話をしっかり聴く> <自分の考えを伝える> <表現を工夫する>

今年度の重点目標の一つは「相手の話を受けて、自分の意見を分かりやすく伝えることができる子供の育成」でした。今年度も、「聴く」と言うことはただ聞くのではなく、目と心を合わせてしっかり聴くことなどを指導しました。項目①「相手の話をしっかり聴いている。」は、9割以上以上の回答者が「おおむね良好」と答え、そのうち5割近くの回答者が「よく当てはまる」と答え、昨年度よりも割合が増えました。相手の話を聴く姿勢はしっかり身に付いてきているようです。

項目②「自分の考えや意見などを進んで発信している。」では、約8割の回答者が「おおむね良好」と答

えています。また、項目③「伝えたいことがよく分かるように表現を工夫している。」に対しては、7割強が「おおむね良好」の回答でした。進んで話そうとする児童は多いのですが、表現を工夫している児童の割合は昨年度同様少ないようです。今年度、校内研究のテーマとして、コミュニケーション力の向上を目指し、様々な場面で相手を意識した分かりやすい表現を工夫し、話したり伝えたりできるよう指導してきました。児童の実力を更に発揮させたいと考え、次年度も引き続き校内研究のテーマとして指導を継続したいと思います。（*「おおむね良好」「当てはまる」の評価は、「よく当てはまる」と「まあまあ当てはまる」を合わせた評価です。*「当てはまらない」の評価は、「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」を合わせた評価です。）

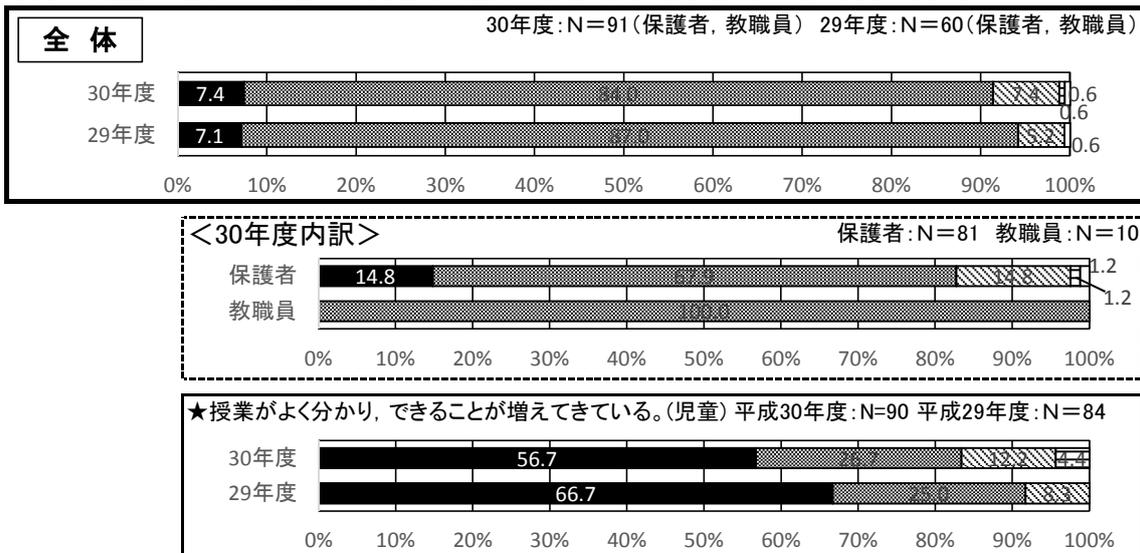
<宿題や自主学習を続けている><分からないことを自分で調べる>

今年度のもう一つの重点目標は「自分から進んで学習課題に取り組む子供の育成」でした。項目④を見ると、家庭学習が定着している児童の割合は9割で、学年が上がるにつれて家庭学習も定着するようです。★「子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。」に「当てはまる」と回答した家庭の割合は9割で、家庭の見守りや励ましが、児童の家庭学習を支える大きな力となっているようです。引き続きご協力をお願いいたします。

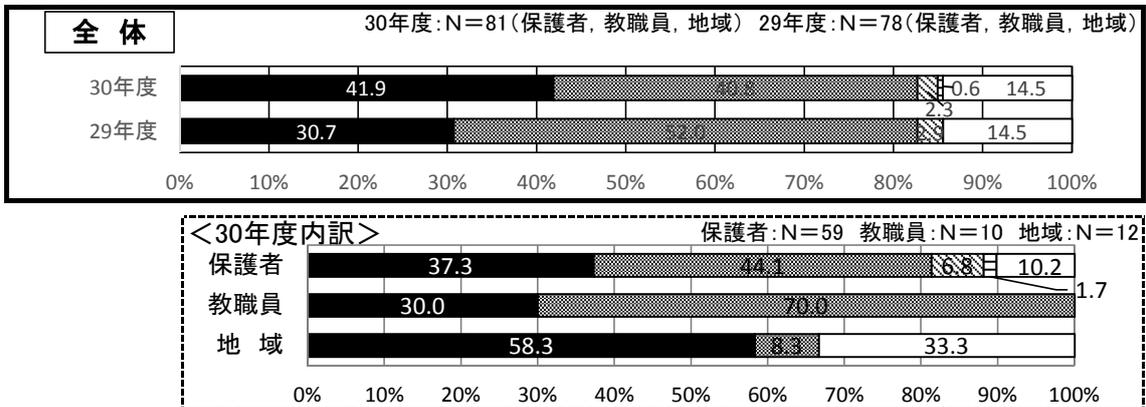
また、項目⑤「分からないことを自分で調べている。」では、8割弱の保護者の方が「当てはまる」と回答していますが、宿題や自主勉強と違い自ら課題を見付け取り組むことは少し難しいようです。分からないことや疑問を持つことの大切さや、疑問をそのままにせず図書やインターネットなど多様なものを使い、自ら調べられるよう調べ方についても指導していきたいと思います。★「子供と一緒に調べたり、読書したりする時間を大切にしている。」に対して、約6割弱の保護者が「当てはまる」と回答しています。家庭学習の見守りと励ましと同様に、お子さんと一緒に取り組むことも大切にしていきたいと思います。

2 「笑顔あふれる楽しい学校」「いじめのない温かい学校」について

⑥ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。



⑦ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。

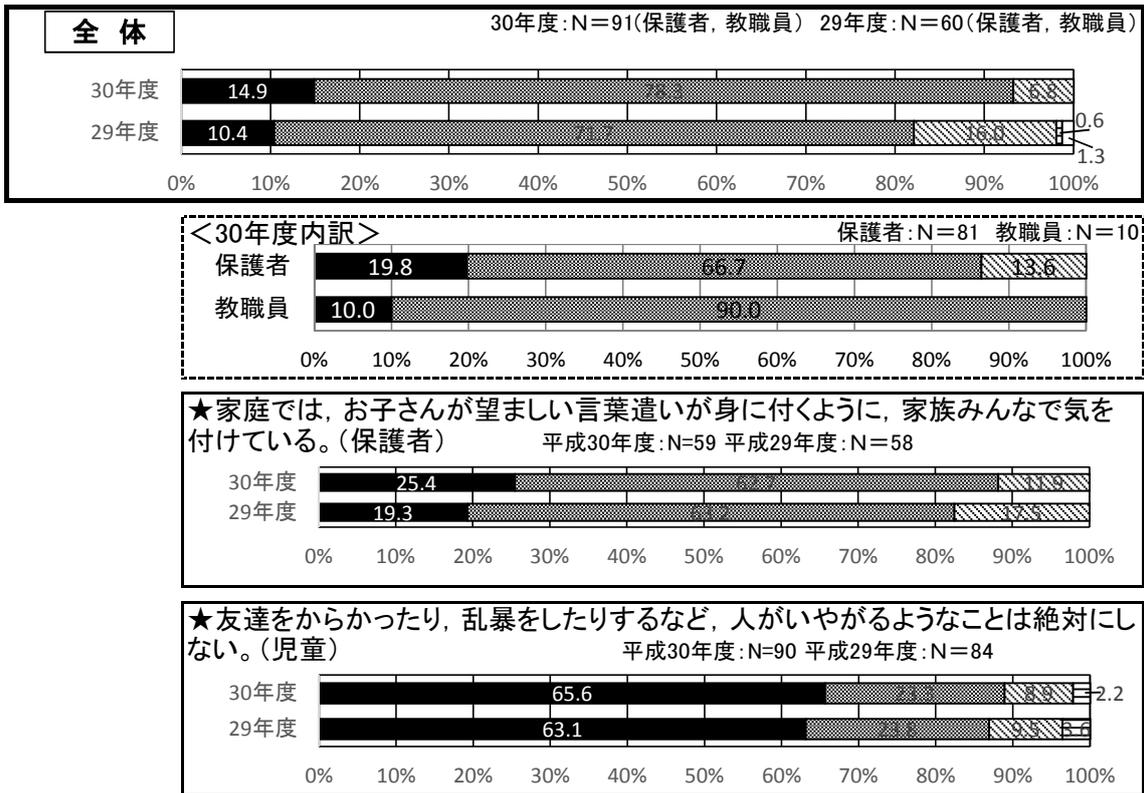


<基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫>

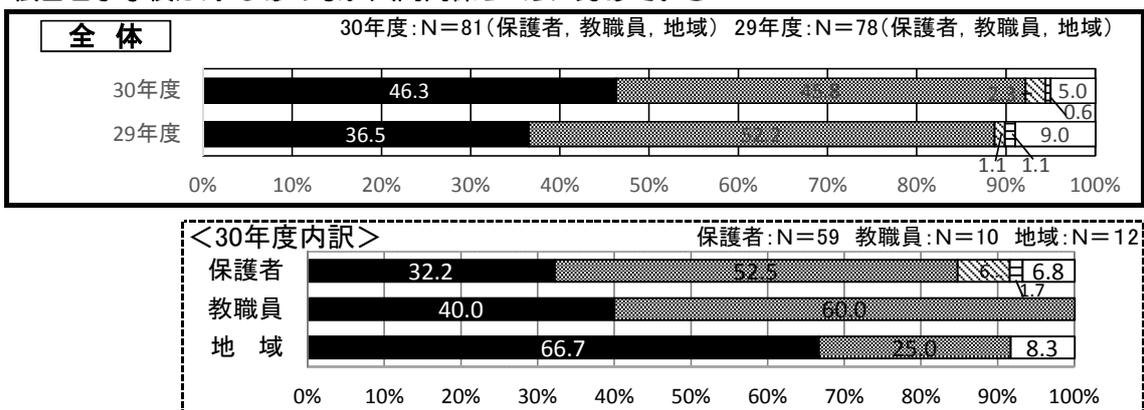
項目⑥「根小の子供は、授業がよく分かり、できることが増えてきている。」では、昨年度と同様、9割以上の回答者が「当てはまる」と答えています、★「授業がよく分かり、できることが増えてきている。」が「当てはまる」と回答した児童は約83パーセントと保護者や教職員の回答比率よりも低くなっています。また、昨年度よりも授業がよく分からないと感じている児童が増えました。

項目⑦「学校は児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。」では、8割以上の回答者が「当てはまる」と答えています、「よく当てはまる」という回答の割合が昨年度より1割ほど増えました。学校では、次年度も引き続き、指導の工夫・改善を進め、一人一人によく分かる授業を提供できるよう努め、児童に「分かる」「できる」という実感を多く味わわせたいと思います。また、学習内容の定着を図るため、始業時間前のスキルタイムを充実させるとともに、放課後の時間を活用した個別指導にも更に力を入れ取り組んでいきます。

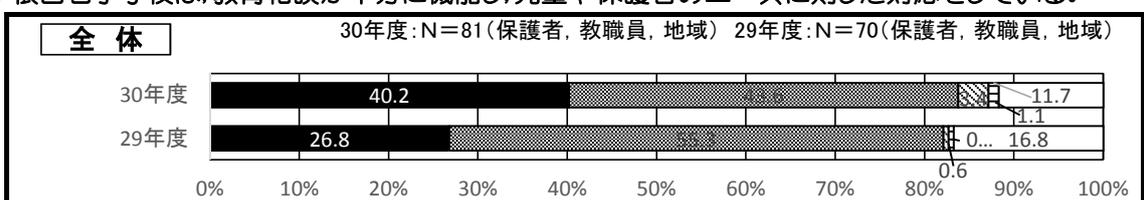
⑧ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。

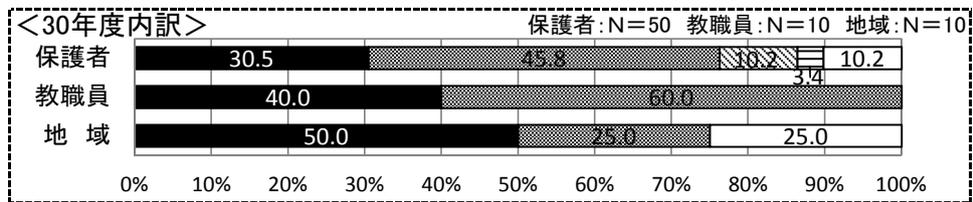


⑨ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑩ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し、児童や保護者のニーズに則した対応をしている。





<思いやりのある言葉遣い, 行動>

項目⑧「根小の子供は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、回答者の9割強がおおむね良好であると評価しています。「よく当てはまる」の割合も1割ほど増えました。また、★「友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。」の質問に対して、9割弱の児童が「当てはまる」と答え、そのうちの約66パーセントの児童が「よく当てはまる」と答えています。ほとんどの児童が、思いやりのある行動を意識し、人が嫌がることをしないよう心掛けているようです。次年度も引き続き、学校・家庭・地域が連携して子供たちの指導に当たっていきたいと思います。

<いじめのない人間関係づくり><教育相談とニーズに則した対応>

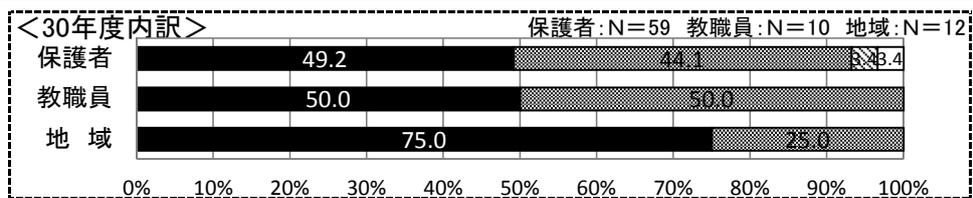
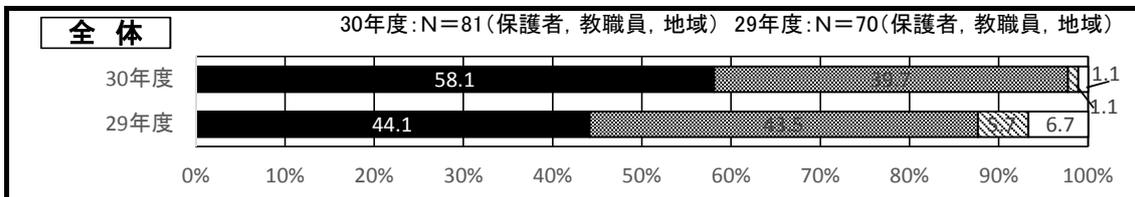
項目⑨の「いじめのない人間関係づくり」については、9割強の回答者が「おおむね良好」と評価しました。学校は児童にとって自分の居場所があり、安心して生活できる場でなければなりません。今後も、子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推進します。

項目⑩の「教育相談とニーズに則した対応」については、「おおむね良好」という割合が約84パーセントとなり、「よく当てはまる」という評価も昨年度よりも1割以上増えました。しかし、保護者の皆様には「教育相談」という言葉はなじみが薄く、学校に相談となると敷居も高く感じると思います。学校は児童や保護者の方の悩みをうかがい、一緒に考え、共に取り組みたいと考えています。より相談しやすい学校を目指し、日頃から児童や保護者の方との信頼関係の構築に努めたいと思います。

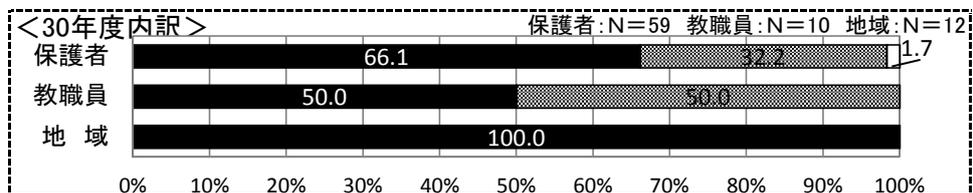
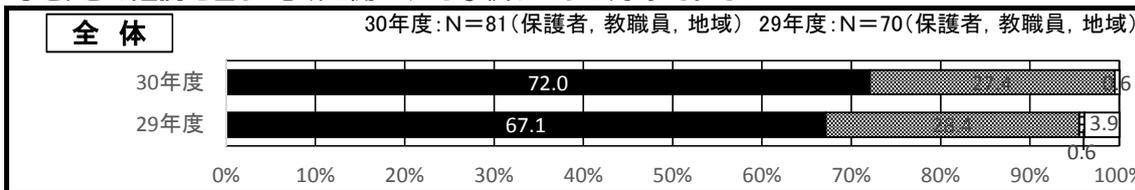
教育相談の学校の窓口は教頭ですが、教頭以外の担任や養護教諭にお伝えいただいても結構です。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでもお声掛けいただきたいと思います。

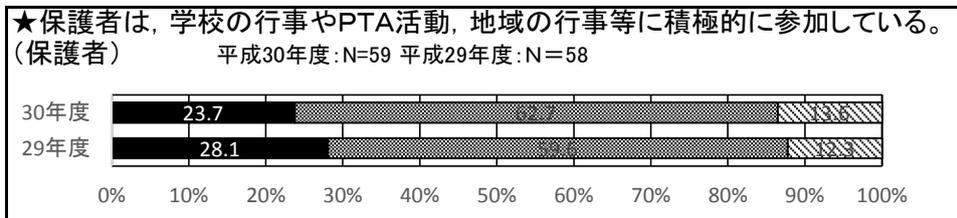
3 地域と共に歩む学校

⑪ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について、保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑫ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体(PTA, 育成会, アセ踊り保存会, 市民センターなど)との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。





<分かりやすい情報発信>

学校の教育方針や児童の活動の様子を文書やお便りだけではなく、PTA総会や懇談会などの機会を利用してお伝えしました。また、学校HPのブログも更新回数を増やし、タイムリーな情報を発信し、多くの方から閲覧いただいています。その成果もあり、項目⑪の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、約98パーセントの回答者が「おおむね良好」と評価されました。そのうち「とてもよく当てはまる」と回答した割合も72パーセントとなりました。次年度も保護者や地域の方々に分かりやすい情報、楽しんで見ていただける情報の発信に努めます。

<地域に開かれた学校づくり>

項目⑫「地域に開かれた学校」に関しては、毎年、非常に高い評価をいただいています。根小は様々なボランティアの皆様のご協力をいただいているだけではなく、地域ぐるみで教育活動を支援していただいている幸せな学校です。お陰さまで、学校の中だけではできない豊かな活動に取り組んだり、学校で学んだことを地域で生かしたりすることができました。次年度も、より一層学校と地域の連携を深めてまいります。また、校外での子供の活躍を応援し、指導にも役立てるため、できる範囲で教職員が地域の行事等に参加したり、参観したりしたいと思います。

平成30年度 第3回学校評議員会・学校関係者評価委員会 (平成31年1月29日開催)での各委員の皆様からの提言や感想です。

[針生 弘 学校評議員]

- ・教職員自己評価は、課題を挙げるだけではなく、課題に対する改善策も考えられていてよい。
- ・児童の図書選定があり、一人一冊選べることは、読書推進のためによい。小規模校のよさを生かしている。
- ・いじめ対応に関する教職員と保護者の評価(アンケート)は行われているが、児童に対しても行うとよい(「学校は相談しやすいか。」など)。いじめ実態把握調査でそのような質問をしていれば、その結果からも評価するとよい。

[沼田 信太郎 学校評議員]

- ・学校と地域のつながりが強くなっているのが分かる。
- ・児童が元気に楽しく学校に通っている姿を見ると、うれしい。
- ・学校と地域の連携は挨拶から。高学年以降になると恥ずかしさのため、挨拶も遠慮がちになるが、中学生にも挨拶を頑張ってもらいたい。
- ・いじめは学力の個人差からも起こることもあると思う。早めの対応が必要である。

[橋川 正隆 学校評議員]

- ・学校がしっかりと取り組んでいることが分かる。

[齋藤 純子 学校関係者評価委員]

- ・学校評議員会・学校関係者評価委員会で授業を参観するが、毎回児童の成長が見られる。教職員が児童にしっかり向き合っていることが分かる。
- ・地域力は大きいので、これからも教職員にも地域の行事にも参加していただきたい。温かい見守りや地域のよさを知らうとする努力を引き続きお願いしたい。

[嶺岸 明美 学校関係者評価委員]

- ・今年度は教職員の大幅な異動があり、行事等の指導が大変だったと思うが、よりよい学校を目指して努力していた。
- ・発達段階に応じた言葉遣い等の指導も必要である。